



(電子版)

info@jikosoren.jp

2022年 第3号 2022年1月24日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201
tel. 03-3875-8071 fax. 03-3874-4997

休息期間11時間 ネット新署名を開始

改善基準改正審議 使用者側、労働者側委員に要請

自動車運転者の労働時間等の改善基準告示の改正審議で、休息期間11時間か9時間かの攻防になっていることから、審議の最終盤に向けて新しいインターネット署名を開始しました。全労連・全労協・純中立などが参加する「雇用共同アクション」によるとりくみです。2月17日のバス作業部会の前には提出するので、2月14日までに多くの署名が集まるように組合員に知らせて、メールやツイッター、フェイスブックなどで拡散するようにしてください。

新署名のURL (アドレス) <https://chng.it/JjqdYxbg2t>

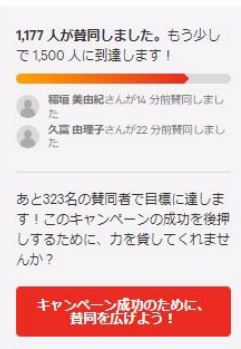
インターネット新署名のよびかけ

発信者：わたしの仕事
8時間プロジェクト 宛
先：厚生労働省労働政策
審議会 使用者代表委員
(全国ハイヤー・タクシ
ー連合会、日本バス協
会、全日本トラック協
会)、労働者代表委員
(交通労連、運輸労連、全自交労連、私鉄総連)のみなさんへ

このままでは『走る凶器』となるバス・タクシー・トラックがなくなる！ 経営者と労働者代表(連合加盟の労働組合)は「勤務と勤務の間を11時間以上」空けるルール作りをやめないで下さい！



発信者：わたしの仕事 8時間プロジェクト 宛先：厚生労働省労働政策審議会 使用者代表委員 (全国ハイヤー・タクシー連合会、日本バス協会、全日本トラック協会)、労働者代表委員 (交通労連、運輸労連、全自交労連、私鉄総連)のみなさんへ



私たちは今、バス・タクシー・トラックのドライバーの健康を守り、また、交通事故を防ぐため、勤務と勤務の間に最低でも『11時間は仕事から離れる時間(休息期間)を保障するルール』を作ることを求めています。

そうした趣旨で昨年末におこなった署名には、多くのみなさんのご賛同とコメントをいただきました。厚生労働省に約2万8000筆の署名と、コメントとを提出するとともに、記者会見をおこないました。

みなさんのご協力のおかげで、厚生労働省は要請を重く受けとめてくれました。

また、「休息期間が短くては、過労死を防げないばかりか、バス・タクシー・ト

トラックが『走る凶器』となってしまう。その問題意識は共有している。だからこそ、新しいルールとして、『11時間以上』を原則とする原案を示した」といった趣旨のお話を伺うことができました。

しかし、新ルールを決める厚生労働省の審議会では、上記の「原案」に対して経営者代表が反対し続けて議論が紛糾、「9時間を原則とする」という妥協案が示される事態となっています。

そして、なんと…今年1月14日に行われた審議会では、労働者代表の一部（バスドライバーを組織する、連合加盟の労働組合）が、『休息時間は11時間以上とするよう努めること、ただしそれを下回る場合は9時間とする』としてもらいたい、という発言をしました。つまり、11時間は努力義務でかまわないと意見表明したのです！

残念ながら、私たちはこの審議会には参加できません。このまま、バスについて「休息期間9時間原則」の内容で労使が合意してしまうと、他の業種にも波及するおそれがあります。

せっかく厚労省が11時間という案を示してくれているにもかかわらず、経営者と労働者の代表が9時間で合意してしまうなんていうことは、絶対にあってはならないことです。

結論をまとめる時期が迫っています。私たちはこの危機的な状況を打開すべく、経営者と労働者代表に対し、新たな緊急署名とコメントとを携えて、申し入れを行うことにしました。

要旨は以下のとおりです。

●勤務と勤務の間の「休息期間」を原則11時間以上とする基準の設定に賛成してください。

この署名への賛同と、コメントが増えれば増えるほど、この問題への注目度が高まっているというメッセージを、経営者と労働者の代表に届けることができます。

ドライバーの健康を守りたい。誰もが被害者になりうる交通事故を防ぎたい。そのために、みなさんに協力をお願いしたいのは、以下の3点です。

- ①この署名にサインする
- ②経営者と労働者の代表宛にコメントを書く
- ③この署名の情報をSNSなどで拡散する

私たちは2月の第2週を目処に、経営者代表の所属する団体（全国ハイヤー・タクシー連合会、日本バス協会、全日本トラック協会）と、労働者代表の所属する労働組合（交通労連、運輸労連、全自交労連、私鉄総連：すべて連合に加盟している労働組合）に、みなさんからの署名とコメントを提出して、申し入れをおこなう予定です。

もうあまり時間の余裕がありません。いそいで行動する必要があります。みなさんが注目しているという強いメッセージが必要です。ぜひ、みなさんのパワーをお貸し下さい。どうかよろしくお願い致します。